

休校期間中の学習内容表

No	学習日	学習内容	教科書	ワーク	その他
①	5/7 (木)	0より小さい数	P14~16	P2	
②	5/8 (金)	数直線	P16	P2	
③	5/9 (土)	正の数・負の数で量を表すこと	P17~18	P3	
④	5/10 (日)	絶対値	P19	P4~5	
確認の日	5/11 (月)	①~④の内容 確認問題	P14~19	P2~5	
復習の日	5/12 (火)	①~④の内容	P14~19	P2~5	
⑤	5/13 (水)	絶対値と数の大小	P20	P4~5	
⑥	5/14 (木)	数直線を使って数の大きさを求める	P21~22	P4~5	
⑦	5/15 (金)	正の数・負の数の加法	P24~25	P6	
⑧	5/16 (土)	正の数・負の数の加法②	P26~P27	P6	
確認の日	5/17 (日)	⑤~⑧の内容 確認問題	P20~27	P4~6	
復習の日	5/18 (月)	⑤~⑧の内容	P20~27	P4~6	学校へ行く日

学習が終わっても、時間がたつと忘れてしまうものです。

学び終わった範囲でも、振り返っておくと授業が始まったときにラクです！！

1年生のみなさん、5月に再開を予定していましたが、休校期間が延びてしまいました。5月の学校再開を楽しみにしていた人も多いと思います。我々も皆さんに会えることを楽しみにしていました。残念なことです。どんな状況であっても、君たちが健康でいられることが第一です。ぜひ、体調に気をつけてこの期間を乗り切ってほしいと思います。

授業の遅れを心配している人もいると思います。そこで、授業前ではありますが、少しでも授業の内容が理解できるように、この課題では、中学校で学習する内容を入れました。授業の流れを意識して作成しましたのでがんばって取り組んでください。

授業が始まったときに一緒に内容を確認しましょう！

以下、この課題に取り組むときの注意点です。

① この課題の取り組み方

(1)～(3)は全員取り組みます (4)は時間を見つけて取り組みます

(1) この冊子のプリントを、教科書を見ながら取り組む。

空欄や自分の考えを書くところがあります。冊子は提出です。

(2) 演習問題に取り組む。

(3) 丸付けをする。答えは冊子の後ろについています！

★マークの問題を間違えた人は、東部中ホームページの補習課題にアクセスし、さらに理解を深めてください。ネット環境がない人は中学校でお渡しできます。

ハイレベル課題もネットにアップしています！ 力を高めたい人はぜひ！！

(4) 副教材のワークに取り組む。(1学期の定期テストで回収し、評価します)

② 課題は30分を目安におこなってください。

③ この課題は5月18日(月)の学習連絡日(登校日)に提出します。

(評価の対象とする)

④ 4日ごとに確認問題を行います。

確認問題は、確認の日が近づいたら行います。各自で取り組んでください。

終わったら丸付けもしてください。(解説を見ながら)

*確認テストの提出はありません。

休校期間で計4回分の確認テスト(今回は2回分配布)ができるようになっています。

この確認テストをふまえて、学校再開後にまとめテストを行います。

しっかり勉強しておいてください！！(評価の対象とします)

⑤ この課題は東部中ホームページにあります。カラーになっているので見やすいですよ！

STAY HOME!! (家にいよう!!)

LET'S STUDY!! (そして勉強しよう!!)

すべては自分のために・・・

1 学年 数学 第 1 章 正の数・負の数

学習日： **5月 7日 (木)**

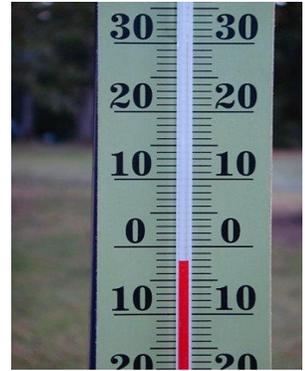
第 1 回 0より小さい数 教 P14~16 ワーク P2 **1**~**3**

⑨ マイナスの数はなぜ身のまわりにあふれているのだろうか？

小学校までで学習してきた数の中で、1番小さい数は0でした。しかし、世の中には0より小さい数が存在します。例えば右の絵を見て下さい。

これは 温度計 です。

指し示している温度は何℃でしょう？ ⇒ _____ °C



このように、**0よりも小さい数にはマイナス(-)をつけて表します。**

《あなたが知っている身近に使われているマイナス(-)は…?》

⇒ (自分の意見を書いてね)

P15 1行目~10行目を読み、理解しましょう。(←大切!!)

ここでひとつ疑問が浮かびます。

? “0(ゼロ)”は 正の数なの？ 負の数なの？ それともどちらでもない？

⇒ A. _____

こちらのことばもおさえておこう!!

自然数・・・正の整数のこと つまり 1, 2, 3, ……のこと。

注意： 0(ゼロ)は自然数ではない!!!!

第1章 正の数・負の数 演習問題

学習日 **5月 7日(木)**

第1回 0より小さい数 教P14~15 ワークP2 **1**~**3**

1 正の数, 負の数とは何か。以下のことばを必ず使って説明してください。 **知**

使うことば 0 (ゼロ) + (プラス) - (マイナス) 正の符号 負の符号

正の数・・・

負の数・・・

2 次の数量を、符号を使って表しなさい。 **知**

① 0°Cより3°C低い温度

② 0°Cより5.5°C高い温度

3 正の数と自然数の違いは何ですか？ 具体例を示して説明してください。 **知**

★**4** 次の数の中で自然数はどれですか？ 整数はどれですか？ **知**

0.3, -5, -6, 4, -0.7, $\frac{1}{7}$, 0, $-\frac{1}{3}$, +12

自然数・・・

整数・・・

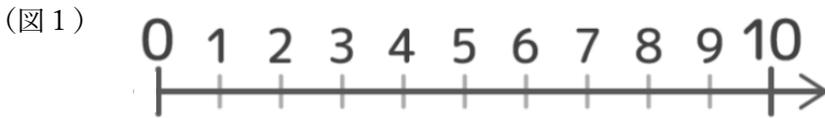
1 学年 数学 第 1 章 正の数・負の数

学習日： **5月 8日 (金)**

第2回 数直線 教 p16 ワーク P2 **4**~**5**

⑨ 数直線に負の数を表すにはどうすればよいだろうか。

数直線とは 直線に数のメモリが刻まれたもの ^{きざ} である。
 今までは0が数直線の一番左にあった。(図1)



しかし、それでは (①) を表すことができない。

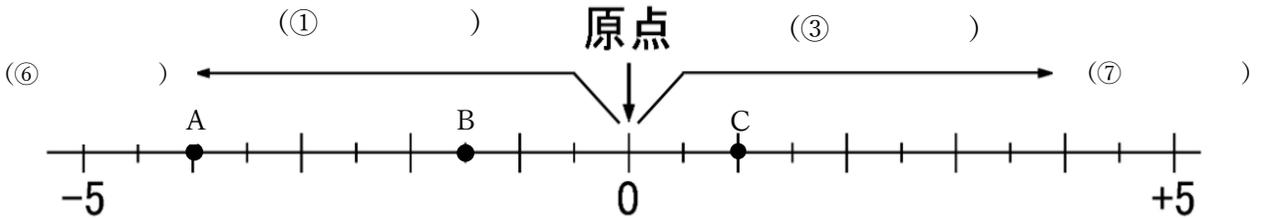
数直線では、右に表される数ほど数の大きさは (⑦) のだから、

0を基準として (②) 側を (③), (④) 側を (①) と表す

ことにすればよい。(図2)

0のことを (⑤) といい、(③) と (①) を分ける基準とする。

(図2)



第1章 正の数・負の数 演習問題

学習日 **5月 8日 (金)**

第2回 数直線 教 P16 ワーク P2 **4**~**5**

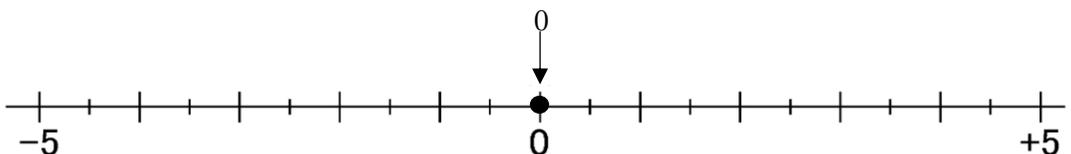
★**1** 上の (図2) の数直線で、A, B, C にあたる数を答えなさい。

A . . . B . . . C . . .

★**2** 次の数を、以下の数直線上に表しなさい。(例の表し方にしたがって表すこと)

(例) 0

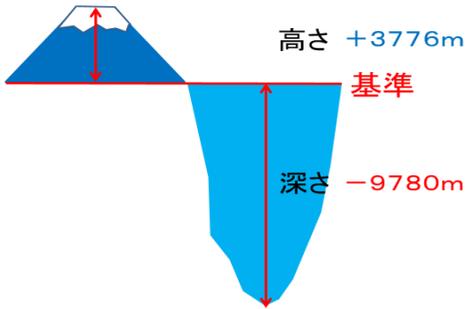
-3, $\frac{7}{2}$, +4.5, -2.5



1 学年 数学 第 1 章 正の数・負の数

学習日： **5月 9日 (土)**

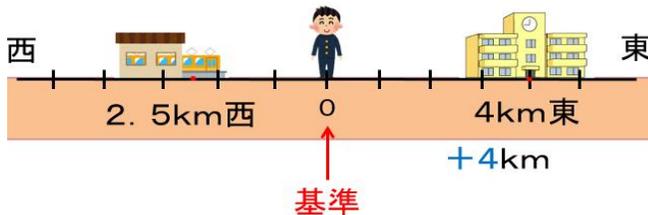
第3回 正の数・負の数で量を表すこと 教 P17~18 ワーク P3



山の高さや海の深さ、収入と支出のように、たがいに _____ の性質をもつと考えられる量は、正の数、負の数を使って表すことができる。そこで・・・

① 反対の性質をもつ量を表す方法を考えよう。

例 1 ある地点から 4 km 東の地点を +4km と表すとき、
ある地点から 2.5km 西の地点は、 _____ と表せる。



ポイント

東に進むことを + で表しています。このことから、反対の方角である西に進むことは - (マイナス) で表すことができます。

例 2 ユウスケくんはバスケットボールの試合で 10 得点することが目標である。
このとき、16 得点したときを +6 点とすると、
4 得点したときは _____ 点と表される。

例 3 ある工場では製品の一日の生産目標を 200 個と決めています。ある週の月曜から金曜までの生産数は次の表のようになりました。空欄に当てはまる数は？

曜日	月	火	水	木	金
生産数(個)	210	195	203	193	200
目標(200個)との違い					

ポイント

基準の値から増減や過不足を表すときにも、正の数・負の数が使えます。

第1章 正の数・負の数 演習問題

学習日 **5月 9日(土)**

第3回 正の数・負の数で量を表すこと 教P17~18 ワークP3

1 反対の性質をもつ量を正の数，負の数を使って表してみよう。 **技**

① 1000円の利益を+1000円で表すとき，500円の損失は（ ）と表せる。

② ある地点から5km北に進むことを，-5kmとすると，南に4km進むことは（ ）と表せる。

★2 ユウスケくんは，テストで80点をとることを目標にしている。 **技**

下の表には，ユウスケくんの実際の点数が記されている。

表の空いているらんをうめましょう。

点数	国語	数学	英語	理科	社会
実際の点数(点)	75	100	68	96	34
目標との違い	-5				

3 ユウスケくんはこの天気予報を見て，マイナスが使われていることに気づきました。



19日の千葉の気温について，どんなことが言えますか？ 理由も含めて説明しよう。 **見**

★4 次の文を〔 〕内のことばにおきかえて表しましょう。(⑤は負の符号を用いて同じ意味の文に変えてください。) **技**

① 4個少ない〔多い〕 ② 6cm短い〔長い〕 ③ 3kg軽い〔重い〕

④ 10円足りない〔余る〕 ⑤ 3個生産する

1 学年 数学 第 1 章 正の数・負の数

学習日： **5月 10日 (日)**

第 4 回 絶対値 教 P19 ワーク P4~5

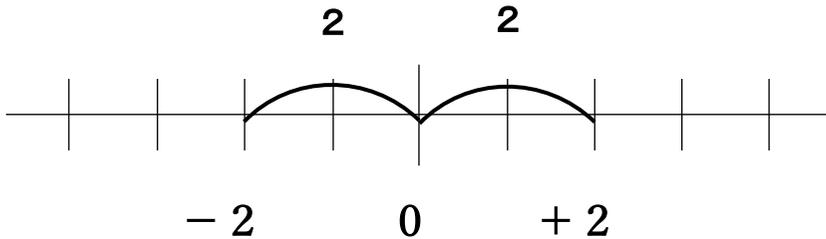
突然ですが、問題です。

$$-2 \text{ と } +2, \quad -5 \text{ と } +5, \quad -\frac{1}{3} \text{ と } +\frac{1}{3}$$

これらの数に共通することはなんですか？

符号が違うけれど数字の部分が同じということ。

でも、それだけではないのです。下の数直線を見てください。



+2 は 0 からいくつ離れているのでしょうか？ ⇨ _____

では、-2 は 0 からいくつ離れているのでしょうか？ ⇨ _____

そうです。

符号が異なり、数の部分が同じ 2 つの数は、0 から同じ数だけ離れているということが分かります。

0 からある数までの距離のことを **絶対値** といいます。

つまり、-2 の絶対値は 2 であって、+2 の絶対値は 2 です。

-5 の絶対値は 5 であって、+5 の絶対値は 5 です。

では、絶対値が 1 である数はなんですか？

言いかえると、0 からの距離が 1 である数は？ という質問です。

答えは -1 と +1 ですね。

この 2 数以外に、0 からの距離が 1 である数はありません。

絶対値 は 中学校で初めて学ぶ数学用語です。しっかりと覚えましょう。

ポイント 符号が異なり、数の部分が同じ 2 つの数は、絶対値が等しい

第1章 正の数・負の数 演習問題

学習日 **5月 10日 (日)**

第4回 絶対値 教P 19 ワークP4~5

★**1** 次の数の絶対値を答えなさい。 **知**

- ① -5 ② $+8$ ③ -3.5 ④ $\frac{3}{4}$ ⑤ $-\frac{1}{2}$

★**2** 絶対値について、次の問いに答えなさい。 **技**

① 絶対値が3である数はなんですか。

② 絶対値が0である数はなんですか。

3 絶対値が -5 である数は 5 と -5 である。このことは正しいですか。

正しいか正しくないか答えなさい。正しくないときはなぜ正しくないのか、その理由も

答えること。 **見**

1 学年 数学 第 1 章 正の数・負の数

学習日： **5月 13日 (水)**

第 5 回 絶対値と数の大小 教 P20 ワーク P4~5

前回、絶対値という数学用語が出てきました。しっかりと意味を理解できていますか？ 今日の学習内容でも登場しますよ。不安な人は前に戻ってもう一度確認してくださいね。

さて、今日も皆さんに突然質問します。

− 5 と − 2 ではどちらが大きいでしょうか？

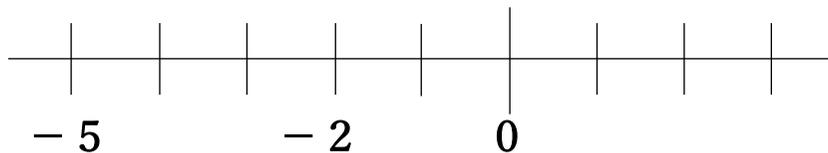
− 5 と答えた人。ざんねん。数の部分を見てみると、5 は 2 より大きいのですが、マイナスがついているときはよく考えなければなりません。

㊦ 負の数の大小関係をすばやく見分けるにはどうすればよいだろうか？

今日も数直線で考えます。そんなに難しくはありません。

数直線では、右にある数の方が大きくなります。

それは負の世界でも同じであって、− 2 は − 5 よりも右にあるので、− 2 の方が大きくなるというわけです。



では、数直線を書かなくても大小関係が分かる方法はないでしょうか？

− 10 と − 8 はどちらが大きい？ 当然、− 8 ですよ。

負の数では、0 からの距離が離れば離れるほど、数の大きさは _____

つまり、絶対値が _____ ほど、数の大きさは _____ ということです。

ポイント

負の数の大小関係を見分けるときは、絶対値に注目！！

絶対値が大きいほど、数の大きさは小さくなる。

これから大小関係は不等号を使って表しましょう。

例えば、− 5 は − 2 より小さい ことを $-5 < -2$ と表します。

第1章 正の数・負の数 演習問題

学習日 **5月 13日 (水)**

第5回 絶対値と数の大小 教P 20 ワークP4~5

★**1** 数の大小を，不等号を使って表しなさい。 **知**

① $4 < 5$ ② $-3 < -7$ ③ $-1.6 < -0.6$

④ $\frac{2}{5} < \frac{3}{5}$ ⑤ $-\frac{1}{3} < -\frac{2}{3}$ ⑥ $-4 < 2 < -2$

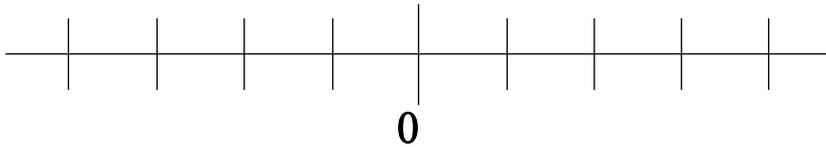
2 ユウスケくんは， 3 と -1 と 1 の大小関係を， $3 > -1 < 1$ と答えましたが，数学の先生に✖をもらってしまいました。でもユウスケくんはどこが間違っているのかわかりません。✖の理由と正しい答えを教えてください。 **見**

1 学年 数学 第 1 章 正の数・負の数

学習日： **5月 14日 (木)**

第 6 回 数直線を使って数の大きさを求める 教 P21~22 ワーク P4~5

負の数の世界になれてきましたか？今日は数直線を使って数の大きさを求めるクイズを出題します。下の数直線を自由に使って求めてみてください。



- Level 1 2 より 3 大きい数は？ ⇒
 - 4 より 5 大きい数は？ ⇒
- Level 2 3 より 5 小さい数は？ ⇒
 - 1 より 2 小さい数は？ ⇒
- Level 3 4 より - 3 大きい数は？ ⇒
 - 1 より - 3 大きい数は？ ⇒
- Level 4 2 より - 2 小さい数は？ ⇒
 - 4 より - 7 小さい数は？ ⇒

どうですか？ Level 3 からよく分からない人もいたのではないのでしょうか。

3 大きい は 数直線の**右に 3 進む** ととらえれば分かりやすいですね。
ですから、2 より 3 大きい数は、2 から右に 3 進んだ 5 ということになります。
同様に、**5 小さい** は 数直線の**左に 5 進む** ととらえればいいので、
3 より 5 小さい数は、3 から左に 5 進んだ - 2 ということになります。

しかし、- 3 大きい はどうでしょう。普段使わない言い方ですね。

ここからが **ポイント** です。

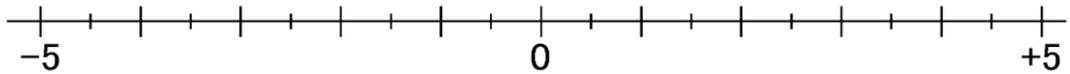
3 大きい は **+ 3 大きい** ということを表しています。(当たり前ですが・・・)
反対の性質は、反対のことばで表すので、
+ 3 大きい の逆は **+ 3 小さい** です。
でも、+ と - も反対の性質をもつ符号なので、
+ 3 大きい の逆を **- 3 大きい** といってもいいのです。
つまり、**+ 3 小さい** と **- 3 大きい** は同じ意味なのです。

第1章 正の数・負の数 演習問題

学習日 **5月 14日 (木)**

第6回 数直線を使って数の大きさを求める 教P 21~22 ワークP4~5

★1 数直線を使って、次の数を求めなさい。 **枝**



- ① -5 より 3 大きい数
- ② -3 より 5 大きい数
- ③ 3 より 6 小さい数
- ④ -1 より 4 小さい数
- ⑤ 1 より -4 大きい数
- ⑥ -1 より -3 大きい数
- ⑦ 2 より -3 小さい数
- ⑧ -4 より -8 小さい数
- ⑨ -2.5 より -2.5 小さい数
- ⑩ 4.5 より -5.5 大きい数

第1章 正の数・負の数 演習問題

学習日 **5月 15日 (金)**

第7回 正の数・負の数の加法 教P 24~25 ワークP6

1 正の数・負の数の2数の和についてどんなことが言えますか。

教科書P25のどんなことがわかるかな や わかったこと を参考にして自分の考えをまとめてみましょう。

符号 や **絶対値** という言葉を使って説明できるといいですね。

1 学年 数学 第 1 章 正の数・負の数

学習日： **5月 15日 (金)**

第 8 回 正の数・負の数の加法② 教 P26～27 ワーク P6

前回の学習で、加法の計算のルールが少し見えてきたと思います。
もう一度、確認しておきましょう。

① 同符号の場合

(+) + (+) や (-) + (-) のパターン

例 $(+3) + (+4) = +7$ $(-3) + (-4) = -7$
 $(+5) + (+8) = +13$ $(-5) + (-8) = -13$

→ 2 数の絶対値の和に 2 数と同じ符号をつける

② 異符号の場合

(+) + (-) や (-) + (+) のパターン

例 $(+3) + (-4) = -(4-3) = -1$
 $(-3) + (+4) = +(4-3) = +1$
 $(+5) + (-8) = -(8-5) = -3$
 $(-5) + (+8) = +(8-5) = +3$
 $(-7) + (+3) = -(7-3) = -4$

→ 2 数の絶対値の大きい方から小さい方をひいた差に

絶対値の大きい符号をつける

このポイントを意識して、演習問題に取り組んでみよう。

最初はゆっくり途中計算を入れて正確に計算できるようにすること！

第1章 正の数・負の数 演習問題

学習日 **5月 15日 (金)**

第8回 正の数・負の数の加法② 教P 26~27 ワークP6

1 次の計算をなさい。 **技**

① $(+4) + (+7)$

② $(+13) + (+29)$

③ $(+86) + (+57)$

★2 次の計算をなさい。 **技**

① $(-5) + (-7)$

② $(-6) + (-11)$

③ $(-36) + (-18)$

★3 次の計算をなさい。 **技**

① $(-2) + (+5)$

② $(-12) + (+21)$

③ $(-74) + (+102)$

★4 次の計算をなさい。 **技**

① $(-8) + (+7)$

② $(-33) + (+19)$

③ $(-18) + (+81)$

★5 次の計算をなさい。 **技**

① $(+12) + (-6)$

② $(+23) + (-9)$

③ $(+218) + (-129)$

★6 次の計算をなさい。 **技**

① $(+6) + (-12)$

② $(+12) + (-84)$

③ $(+98) + (-765)$